

全都道府県で開催！

診療・介護報酬同時改定を見据えた看護必要度ステップアップ研修 「重症度、医療・看護必要度」データを用いた入退院支援等のマネジメントスキルの向上

平成30年の診療・介護報酬同時改定を見据えて医療機関が行う準備として、「多機関連携」による入退院支援等の充実が課題となっています。病棟への退院支援職員の配置、連携施設職員との定期的な面会、介護支援専門員との連携、多職種による早期のカンファレンス等を通して、多機関が連携して切れ目のないサポートを行うこと、そして医療機関が在宅復帰機能を高めることが評価されるようになります。

当会は「重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修」を毎年開催しておりますが、そのステップアップ研修として当研修を開催いたします。平成30年同時改定の準備として、「重症度、医療・看護必要度」のデータを用いて正しい患者像を知り、自施設が真にあるべき機能を見極め、医療機関の入退院支援の充実と在宅復帰機能を高める具体的な手法を検証します。

11月5日(日) 9:30～17:00

全国同時中継

受講証明書発行いたします

共 催 日本臨床看護マネジメント学会 ヴェクソンインターナショナル株式会社

講 師
兵庫県立大学大学院経営研究科教授 筒井 孝子 氏
岩手医科大学看護学部教授 嶋森 好子 氏
横浜創英大学看護学部教授 田中 彰子 氏 ほか

プログラム

- ◆ 講義1 診療・介護報酬同時改定における看護管理の在り方
- ◆ 講義2 マネジメントツールとしての看護必要度 ① 他機関協働と多職種連携の推進の必要性
- ◆ 講義3 ② 看護記録との連動による看護必要度評価精度の向上
- ◆ 講義4 ③ DPCとの連動による看護必要度評価精度の向上
- ◆ 講義5 ④ 看護必要度データの活用、病棟運営から地域連携まで
- ◆ 講義6 地域包括ケアシステムへの構築における医療機関の役割～病院内完結型ケアから入退院支援を踏まえた地域協働型のケアへ
- ◆ 実践報告 セルフマネジメント支援と入退院支援の取り組み～入院医療機関と地域包括支援センターの連動
- ◆ 演習 セルフマネジメント支援の導入による入退院支援の推進
- ◆ まとめ

対 象 看護職員、MSW 等

中央会場：看護協会会員もしくはJSNAM会員 12,000円 一般 13,000円

衛星会場：看護協会会員もしくはJSNAM会員 8,000円 一般 9,000円 ※JSNAM：日本臨床看護マネジメント学会

申込みの流れ (申込みはインターネットのみとなります。詳細については専用サイト<https://k5h.jp>をご確認ください。)

申込みは8月28日(月)10:00～専用サイト<https://k5h.jp>からお申込みください。

※FAX、お電話での申込みは承っておりません。

※申込みは**お1人1会場**とさせていただきます。

- 参加確定のご連絡については、参加証の送付をもってかえさせていただきます。
※3週間以内にご入力いただいたファックス番号に参加証をお送りいたします。
- 参加者及び会場の変更は承っておりません。
- 各都道府県の研修会場は専用サイト<https://k5h.jp> 会場一覧でご確認ください。

事前課題について

研修1カ月前の10月5日(木)より専用サイト<https://k5h.jp>にて事前課題を行ってください。

※事前課題の詳細は**参加証に記載**しています。

- 参加証に各受講者のID・パスワード、参加費振込先情報が記載されております。

お問合せ・申込先

ヴェクソンインターナショナル(株)

〒182-0006 東京都調布市西つつじヶ丘3-37-2事務局 TEL:042-443-0756 FAX:03-5314-3337 MAIL:kango@k5h.jp

注：会場提供にご協力いただいております各都道府県看護協会への直接のご連絡はご遠慮ください。

8月28日(月)10:00より申込開始 → k5h.jp 検索